ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

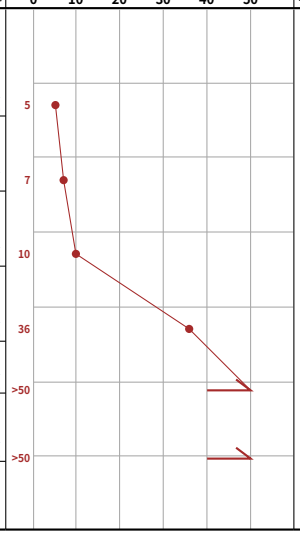
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-1(測点No.7斜面上部)	調査位置				北　緯	36 ° 22 ' 24.8100 "
発 注 機 関	栃木県足利土木事務所　整備部		調査期間	2009-07-08 ～ 2009-07-11		東　経	139 ° 28 ' 08.4400 "
調 査 業 者 名		主任技師	現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	90.02 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	試 錐 機	ハンマー落下用具
総 掘 進 長	6.06 m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 31.00 °	使用機種		エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	89.22	0.80	0.80		礫混じりシルト (M-G)	暗茶		軟らかい	崩積土 径φ10～30mmの角礫混入 草根混入 含水比中位　粘性下位		
1 2 3	86.12	3.10	3.90		礫混じり粘土 (CH-G)	茶～茶褐		中位	径φ10～50mmの角礫混入 礫は風化礫主体 含水比中位　粘性中～上位		07/09
4 5 6	83.96	2.16	6.06		チャート (Cht)	灰茶～灰			チャートの強風化部～風化部 コアは全体的に比較的密着 3.90～5.20m間、風化著しく部分的に粘土化を呈す コア形状は礫状～片状 5.20～6.06m間、弱風化程度でコア形状は破砕部を含み片状主体 コア採取率80～95% RQD0% 岩級区分は「CL」程度と判定		07/10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	2	5／30	5
1.45					
2.15	2	2	3	7／30	7
2.45					
3.15	4	3	3	10／30	10
3.45					
4.15	12	10	14	36／30	36
4.45					
5.10	50／6			50／6	>50
5.16					
6.00	50／6			50／6	>50
6.06					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日